

§ 協会の動き（平成28年6・7月分）

☆ 甲種4類消防設備士試験準備講習会を開催

[認定職業訓練・技術研究委員会事業]



甲種4類消防設備士試験準備講習会が6月13日に開講いたしました。受講者は15名、埼玉建産連研修センターにて6月末までの3日間の日程で行われました。

講師はSEEDO代表の関根康明氏。初日は試験の概要と対策として、電気に関する基礎知識、自動火災報知設備の設置基準など消防関係法令などについて説明。2日目は感知器・受信機・発信機・地区音響装置、消防用設備などの構造・機能・工事・整備について解説。最終日は自動火災報知設備の設計平面図作成・系統図作成のほか問題演習などを行い講習を終えました。本試験は8月末に行われます。

デパートやホテルなど不特定多数の人が出入りする建物は、用途・規模・収容人数に応じて屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備などの設置が義務付けられています。このうち共同住宅用自動火災報知設備などの工事を行うには、甲種4類の消防設備士資格が必要とされており、電気設備従事者にとっては重要な資格となっています。

☆ 中堅技術者フォローアップ研修を開催

[担い手育成・人材育成委員会事業]

6月28日、29日の2日間、中堅技術者フォローアップ研修を、さいたま市南区の別所沼会館ヘリテイジ浦和にて開催いたしました。この研修は、建設業で働く方々の離職率を減らし、技術者にとってより良い環境づくりのため、入職より1年以上から中堅社員の方々を対象として行われております。講師はM&MC合同会社代表の國實誠氏と、SEEDO代表の関根康明氏。

初日は電気設備工事におけるモチベーションアップ、部下育成の重要性、コミュニケーション能力の向上、職場の問題の発見と役割に応じた行動変化、安心して仕事ができる会社作り、組織力強化と社員の定着率の向上について、受講者それぞれが会社や現場での対応、解決の仕方を考えました。

2日目は現場力とは、現場の知識、キャリアアップの方法、施工管理、工程表作成、安全管理の進め方、工事写真から学ぶこと、電気工事業のこれからについて研修。

終了後、岡村会長は「協会、先生方、皆さんの三者が一体となってすばらしい研修となった。今回の経験を会社に持ち帰り、実務に役立ててほしい」と挨拶。受講生に修了証を手渡しました。



☆ あと施工アンカー講習会を開催

[担い手育成・技術研究委員会事業]

7月5日にあと施工アンカー講習会を建産連研修センターにおいて開催いたしました。講師のサンコーテクノ(株)ファスニング営業本部首都圏担当マネージャーの久保英木氏は講習にあたり「東日本大震災や笹子トンネル天井板崩落事故を受け、あと施工アンカーに対する注目が高まっています。トンネル内の工事では接着性アンカーの使用を控えるよう土木学会から指示が出され、また金属系のもものでは施工完了後、目視確認や打音試験ではなく、数値で管理するということになっています。本日得る知識は、皆さんの仕事の品質向上に必ず優位に役立つと思われます」と挨拶し、技術習得の重要性を述べました。

講習ではまず座学であと施工アンカーの使用例や分類、金属拡張アンカーと接着アンカーそれぞれの施工時の要点・注意事項などが説明されました。その後、屋外にて用意されたコンクリートブロックに数種類のアンカーを実際に打ち込み、コツをつかんでいました。

講習終了後、修了証が受講者24名に手渡されました。



☆ 平成28年度安全大会を開催

[事故防止対策委員会事業]

7月7日、平成28年度安全大会を建産連研修センターにて開催いたしました。

冒頭、岡村会長がこの一年間協会として大過なく過ごせたことに感謝を述べ「建設工事は、現場で働く一人一人に支えられており、その一人一人を大切にしなければなりません。仮にヒューマンエラーが発生しても、大事に至らないような安全対策が必要になります。一度事故を起こしますと、会社として法令違反がなくても解決までには相当の労力がかかります」と挨拶しました。

訓示は、埼玉労働局労働基準部健康安全課の布施武雄課長が労働災害の現況事例などを解説。埼玉労働局管内における死亡災害は7月1日現在で18人を記録し、このうち建設業は3人との説明がありました。

続いて、『ヒューマンエラーによる災害防止対策』と題して、東光電気工事(株)安全品質管理部安全管理課の山田満課長に安全講話をいただきました。

最後に、本年度のスローガン

[今年度出席者への記念品 ネックライト]

**“見えますか?あなたのまわりの見えない危険、
みんなで見つける安全管理”**

を唱和しました。



[岡村会長]



[布施武雄氏]



[山田 満氏]

☆ 第1回技術講習会を開催

[技術研究委員会事業]

7月13日、第1回技術講習会を建産連研修センターにて開催いたしました。



[講師 杉原裕征氏]

講師には(株)関電工技術開発本部の杉原裕征氏を迎え、テーマは「省エネルギー・新エネルギー関連の最新動向」。これについては技術者の関心も高く、会員だけでなく県や市町村の技術者の方を含め100人程の参加をいただきました。

開会に先立ち岡村会長が「会員の技術力向上に伴う成果品の品質向上が会員と非会員の差別化に繋がる。今後も皆さんの希望に沿う電気技術の向上に資するようなテーマの講習会を催していく」と述べ技術力向上の重要性を訴えました。

講習は、省エネルギーの促進で業務・家庭などの民生部門に重点を置いて、取組が活発化している現状が紹介され、電気設備の省エネには、高効率変圧器の採用などがポイントと解説されました。

講習後の受講者対象のアンケートでは「電気設備に関する省エネ・CO₂削減のポイントについて参考になった」「スマートグリッドについてもっと聞きたかった」などのご意見をいただきました。当協会では、このような形で今後も皆様のお役に立つような講習会を積極的に企画していきたいと思っております。



☆ 第二種電気工事士試験受験準備講習会（技能コース）

[担い手育成・技術研究委員会事業]

平成28年度第二種電気工事士試験受験準備講習会（技能コース）を7月14日・15日の二日間にわたり埼玉建産連研修センターにおいて開催いたしました。

講師に渡辺一雄氏（WSK Brain Group & RIC 代表）を迎え、筆記試験を突破した受講生は、8月の技能試験に向けて、公開問題の重要ポイントや欠陥と重大欠陥について学び、また模擬試験で複線図を描かずに作品を完成させ、自己判定できる技術を習得しました。

本試験は7月24日、合格発表は9月2日になります。

